

平成 27 年度職員採用試験（大学卒業程度）
林業 専門記述試験（27. 6. 28）

＝ 課 題 ＝

○林業の生産性の向上と国産材の需要拡大について

我が国では、戦後植栽されたスギ・ヒノキ等の人工林が成長し、収入間伐や主伐により資源の利用を進める段階にあります。広島県でも、「2006～2010 広島県新農林水産業・農山漁村活性化行動計画」、「2020 広島県農林水産業チャレンジプラン」を策定し、平成 18 年度から木材生産の拡大を進めています。しかし、円高や国内木材需要の減少等から、木材価格が長期的に低下しており、更にこの取組を進める上では、林業の生産性の向上や国産材の需要拡大を図る必要があります。

これらの対策として、「森林施業の集約化」、「低コスト作業システムの普及」、「再造林の低コスト化」、「森林資源のカスケード（多段階）利用」等を進める必要があります。これら 4 つの対策から 2 つを選択し、次のキーワードを参考にして、それぞれ具体的に論述しなさい。

【キーワード】

「森林施業の集約化」

○森林施業プランナー ○森林経営計画 ○森林所有者の特定と境界明確化

「低コスト作業システムの普及」

○路網整備 ○高性能林業機械 ○車両系・架線系作業システム

「再造林の低コスト化」

○コンテナ苗 ○下刈り回数の削減 ○低密度植栽

「森林資源のカスケード（多段階）利用」

○集成材 ○合板 ○木質バイオマス